

平成28年11月21日

都市整備部公園緑地課

宮崎市フェニックス自然動物園及びフローランテ宮崎の指定管理者候補者の選定について

宮崎市フェニックス自然動物園及びフローランテ宮崎の指定管理者については、次のとおり候補となる団体を選定しました。

なお、選定された団体を指定管理者とする議案が、平成28年12月議会で可決された場合には、同団体が指定管理者として、本施設の管理運営にあたることとなります。

1. 指定管理者候補者の概要

- (1) 団体等の名称 宮崎市フェニックス自然動物園管理株式会社
- (2) 代表者名 代表取締役 蔵田 充宏
- (3) 主たる事務所の所在地 宮崎市大字塩路字浜山3083番地42
- (4) 設立年月日 平成13年8月7日
- (5) 設立目的
 - ① 宮崎市から委託を受けた公共施設及び動植物の管理運営業務
 - ② 遊戯施設の経営
 - ③ 食堂の経営
 - ④ 土産品店の経営
 - ⑤ 食料品、日用雑貨品の販売
 - ⑥ 物品賃貸業
 - ⑦ 前各号に附帯する一切の業務
- (6) 事業概要
動物の飼育管理、入園料金及び駐車場料金の徴収、遊園地の運営、プールの運営、レストラン・売店の運営、植物の管理、イベントの開催、その他維持管理等
- (7) 資本金又は基本財産 50,000千円
- (8) 従業員数 正社員47人、非正社員21人

2. 指定期間（予定）

平成29年4月1日から平成34年3月31日まで（5年間）

3. 施設及び業務の概要

【宮崎市フェニックス自然動物園】

- (1) 施設概要
 - ① 施設名
宮崎市フェニックス自然動物園
 - ② 所在地
宮崎市大字塩路字浜山3083-42

③ 施設規模等

管理面積 約 14.2ヘクタール

主な施設 動物舎、レストラン棟、遊戯施設、流れるプール、観覧橋など

(2) 業務概要

- ① 動物園の運営に関すること。
- ② 動物の飼育管理に関すること。
- ③ 動物園施設の維持管理に関すること。
- ④ 利用料金に関すること。

(3) 現在の管理方法

指定管理者 宮崎市フェニックス自然動物園管理株式会社

(平成26年4月1日から平成29年3月31日まで)

【フローランテ宮崎】

(1) 施設概要

① 施設名

フローランテ宮崎

② 所在地

宮崎市山崎町浜山4-14-16

③ 施設規模等

管理面積 約5.1ヘクタール

主な施設 夢花館、街並み見本園、ガーデンハウス、温室、芝生広場など

(2) 業務概要

- ① フローランテ宮崎の運営に関すること。
- ② 植栽の維持管理に関すること。
- ③ フローランテ宮崎の施設の維持管理に関すること。
- ④ 利用料金に関すること。
- ⑤ 有料公園施設等（フローランテ宮崎内に限る）使用許可に関すること。

(3) 現在の管理方法

指定管理者 宮崎市フェニックス自然動物園管理株式会社

(平成26年4月1日から平成29年3月31日まで)

4. 事業計画の概要

(1) 市民の平等な利用の確保等

① 管理運営に対する基本方針

設置目的を具体化した基本理念を実現するため、宮崎市担当部局と連携を密に、市

民・地域等の意見、要望や社会的変化を把握し、サービスに反映させるとともに、施設の新たな活用策について検討することにより両園の魅力向上を図る。広告宣伝、渉外活動等を創意工夫して来園者の増加を図り、質の高いサービスを提供し、管理運営経費の削減に努める。

《基本理念》

○宮崎市フェニックス自然動物園

「市民に愛され、市民の憩いの場所となる動物園」

○フローランテ宮崎

「宮崎市の花のまちづくりの推進（拠点）」

②市民の平等な利用の確保

宮崎市の公の施設として、利用者の平等利用と公平なサービスを確保するため、関連諸法令の内容を理解し遵守するとともに、施設の利用案内等の情報をホームページ、広報誌（季刊）、宮崎市広報誌等により積極的に提供する。

両園は常時、来園者アンケートで満足度調査を実施し、園内サービス、施設保守、観覧環境や展示、植栽改善など運営全般に反映させる。

③要望、意見、苦情への対応

来園者アンケート、電話やホームページあるいは従業員に直接伝えられる様々な要望、意見、感想等について分析し、改善を検討する。来園者アンケートの要望・意見等は、月毎の業務報告書を宮崎市担当部局に提出し、苦情等については宮崎市担当部局と連絡を密にとり、速やかに対応する。

(2) 施設の設置目的・効用の最大限の発揮

①利用者サービスの向上に関する提案

常に清潔な園内環境を提供し、車椅子やベビーカー、コインロッカーや傘等の貸出しを行う。情報サービスとして、ホームページで動物や花、イベントなどの情報を常時発信するほか、両園のリアルタイム情報をフェイスブックで発信する。

動物園は、30分～1時間おきに「毎日の動物園イベント」を実施。園内移動のためのロードトレインを週末運行する。

フローランテは、イベント実施時に、券売機のほか臨時の手売り券売場を設置する。また、施設内に入りきれない車両は近隣駐車場を借用し対応する。

②利用者の増加を図るための取組みに関する提案

動物園は、新しい情報発信と利用促進の取組として、「どうぶつえんだより」（季刊）を発行し、県内の小学校・幼稚園・保育園等を通して、児童とその家族に配布する。

フローランテは、春と秋のフローラル祭や夏の「みやざきグルメとランタンナイト」、冬の「イルミネーション・フラワー・ガーデン」、小学生向けのサマースクールを充実させ、年間を通して花や食、市民参加等をテーマとした集客イベントを開催する。

県内外をはじめ、隣県近接域からの観光客を誘致するために、イベント情報をホームページや無料情報サイト等など SNS をさらに活用し、積極的に情報発信を図る。

③施設の設置目的の理解と課題の認識

動物園は、県内唯一の動物園としての社会的役割を担ってきたが主要施設の老朽化が進み、時代とともに動物園のあり方も問われる状況である。近年では動物福祉が世界的に大きな課題となっており、キリンやゾウなど動物園飼育動物の国内減少問題もその例である。

今後、動物園ではキリンのオス個体導入及びゾウの繁殖（種付け）を計画しており、フラミンゴも国内有数の繁殖基地として注目されている。リニューアルにおいて、新しい動物展示・新しいアミューズメント性を織り交ぜた独自の将来構想を計画し、他に類のない新しい動物園として集客増と経営基盤の安定に繋げる。

フローランテは、植物公園の機能をもった花のまちづくりの拠点である都市公園施設であり、一ツ葉リゾート地区内の観光施設としての役割を期待されている。地区内の各施設との連携が非常に重要である。課題としては、開園後16年近くが経過したことによる園内各施設の老朽化。施設の安全な使用のために、当該箇所の早期の維持補修、樹木の間伐や大規模な剪定等を行い、施設の安全に維持管理していくほか、今後は施設のリニューアルを早急を実施し、滞在性を持った施設としていくことが必要である。

④設置目的に沿って施設の効用を最大限に発揮できる提案

i) 動物の繁殖や飼育に関する計画について（動物園）

- ・アジアゾウはメス単独飼育で繁殖適齢期を迎えており、オス個体の導入と同時に他園での繁殖（種付け）を検討する。
- ・マサイキリンもメス1頭を単独飼育。国内の飼育数も10頭未満であることから、国内のオス個体の導入計画が進行しており、今後は群れ飼育と累代繁殖を目指す。
- ・フラミンゴは現在4種300羽程度を飼育中。今後も繁殖の継続を行い、フラミンゴの基地となる。
- ・チンパンジーは国内動物園第2位の飼育数（14頭）で、群れ飼育での自然繁殖を継続中。日本に誇る繁殖と動物福祉を備えたモデル飼育施設（リニューアル進行中）とする。
- ・ダチョウやシマウマ、キリンによる日本初の混合飼育展示を継続する。
- ・ニホンザルやタヌキ、アナグマなど、身近な日本産の動物の保護飼育や、日本産希少種ミゾゴイ、県鳥コシジロヤマドリ、特別天然記念物ニホンカモシカも繁殖に寄与し自然保護の一助とする。

ii) 都市緑化植物園として高質な緑化空間を確保・維持できる計画（フローランテ）

- ・今後はより「魅せる植栽空間」作りを念頭に園内花壇の変更等のリニューアル事業を展開する。
- ・5～10年をかけ計画的に樹木の伐採と話題性のある花木や多年草、宿根草等の植栽を進めていく。
- ・大手種苗メーカーや生産者団体とコラボレーションし、最新品種やコンテスト受賞品種を展示するとともに、展示物を安価に提供してもらい経費の削減を図る。

iii) 施設の管理水準向上のための方策

- ・常に施設全体を清潔に保ち、職員による日常巡回点検のほか、専門業者による定

期的な点検を実施し、中・長期的な維持保全または改修、さらに利用状況やニーズに応じた施設の改善に積極的に取り組み、管理水準の向上と長寿命化を図る。

iv) 市民参加促進と市民協働についての自主事業の取り組み

・動物園は、教育機関と共同で教育関係者の研修を受け入れ、講師を派遣。地元大学と学生教育並びに研究活動の実施促進を図る。

・大学との共同研究で動物園飼料（通年、団地型牧草）の栽培を実施しており、動物の健康管理及び飼料経費の削減に寄与している。

・フローランテは、一ツ葉エリア・山崎地区の地域住民と連携し、サマースクールやホテルの里イベント等を実施する。

v) 教育普及等についての自主事業の取り組み

・動物園は、40年以上実施している幼児・小学生・中学生対象の「動物の作文」「動物画」「年賀状版画」コンクール、夏休み期間中の「サマースクール」「ナイトZOOウォッチャー」に加え、出張講話や出張動物ふれあい教室など新しいプログラムを構築する。

・フローランテは、夏休み期間中の「サマースクール」、春に実施している花のスケッチ大会のほか、今後は学校・学級の花壇づくりなどの花と植物に関する学習機会に積極的に参画する活動を検討し、学校教育に寄与する。

vi) 利用者へのサービス向上等につながる自主事業の取り組み

・動物園は、年中実施する「毎日の動物イベント」をはじめ、夏休みの「流れるプール」、冬「動物園のお正月」など季節イベントを行うほか、遊園地・レストラン・売店を自社営業し、総合的に、より質の高いサービスの提供に努める。

・フローランテは、春・秋「フローラル祭」、夏「みやざきグルメとランタンナイト」、冬「イルミネーション・フラワー・ガーデン」のメインイベントのほか、閑散期や天候に左右されない集客イベントとして、「ドーム・ガーデン・マルシェ」（グルメ、雑貨、パンなどの展示や販売）などの中規模イベントに取り組む。

・動物園は平成33年に開園50周年、フローランテは平成32年に開園20周年を迎えることから、それぞれ節目となる年に記念事業を行い、両園の価値と魅力を改めて訴求し、両園の未来に向けたビジョンを発信する。

(3) 施設管理に係る経費の縮減

①業務の第三者委託の範囲、理由、委託先に対する考え方

・自社での執行が困難な業務のみ第三者委託を行う。宮崎市内の業者複数社による見積もり合わせを行うことで、宮崎市の地域経済に貢献する。また、その中で一番安価でかつ信用及び実績のある業者に委託することで経費の縮減を行う。但し、委託内容が特殊な場合については、宮崎市内外問わず随意契約とする場合がある。

②管理業務の効率化と経費の縮減に関する考え方・提案

・総務、経理、施設管理、売店、レストランの業務において両施設を一元管理することで人件費を削減し、また両園の売店・カフェテリア、植栽管理等を、それぞれ動物園・フローランテの担当課が管理・運営を担務することで、効率的な運営を図る。

(4) 管理運営を行うための物的・人的能力及び体制

① 人的体制の確保

動物園は、園長 1 名（部長及び企画課長兼務）、総務・経理・遊園地施設・飼育の課長各 1 名、物販の副長 1 名を含む社員・契約社員・準職員の計 52 名により管理を行う。

フローランテは、園長 1 名、部長 1 名（企画及び財務、植栽課長兼務）、植栽の副長 1 名を含む、社員・準職員の計 16 名により管理を行う。

○施設の管理運営にあたる人員の必要な資格

動物園は、公益社団法人日本動物園水族館協会正会員、博士、学芸員、獣医師、飼育技師、ゾウ飼育技術者、昇降機等検査員資格者、遊戯施設運航管理者、等

フローランテは、技術士（総合技術管理部門、建設部門）、防災士、1 級造園施工管理技士、1 級園芸装飾技能士、等

両園共通として、防火管理責任者、衛生管理者、危険物取扱者、等

② 事業計画の実現可能性（継続性、安定性）

・動物園では、教育的な企画として、小中学校対象に各種コンクールを 40 年以上継続して実施。また、授業の一環として「ふれあい動物教室」等、共催できる関係を築いている。

・（公社）日本動物園水族館協会に加盟し、動物園間のネットワークの保持及び社会的役割を果たすほか、病理や飼育動物状況、技術等の情報交流を行っている。

・大学の農学部獣医学科や畜産学科、教育学部他との共同研究や実習生受け入れ、非常勤講師派遣等、交流を盛んに行っている。

・県内の公的機関（県愛護推進協議会、博物館協議会、等）に参画。ほかにも、NPO 法人宮崎野生動物研究会に動物園職員が多く参画し、アカウミガメやニホンカモシカ等の保護活動の推進力となっている。

・フローランテにおいては、民間活力の活用、地域との連携強化、また経費削減プログラムの一環として、持ち込みイベントや直営での事業運営に取り組んでいる。

・みやざきグルメとランタンナイトでは宮崎市観光協会と、スイーツプロジェクトではみやPEC推進機構と連携し各種イベントを開催することで集客効果を上げている。

・宮崎商工会議所主催のみやざき産業祭など、企業・団体と連携したイベントを開催し施設の活用に努めている。

・今後は、地域資源を活かしたイベント（ホタル、スズムシ等）を実施する。

・来園者アンケートや来園者の直接あるいはホームページへの意見、宮崎市担当部局やマスコミ等などを通じ、常にアンテナを高く情報収集し、新しいサービスやイベント・運営の企画に活かすよう取り組む。

・宮崎市担当部局との連携（報告・連絡・相談）を常に実施し、毎月の営業報告、年 4 回の取締役会、年 1 回の決算報告等を通じて、宮崎市の施策・各種事業に積極的に参加、協力する。

③ 申請者の安定性、信頼性

・申請者は、平成 13 年（フローランテは平成 15 年）以来、宮崎市担当部局との連携により、動物園とフローランテの運営を専門に行ってきた法人組織である。財務状

況については、毎年、指定管理料の削減を行い、安定的な黒字経営を継続している。

(5) 安全管理に対する対応

① 災害及び不審人物の対応など、危機管理に対する対応

- ・ 事故や地震等緊急事態（地震、火災等）が発生した際には、迅速な救護活動に努める等の必要な措置を速やかに講じるとともに、災害や事故発生時のマニュアル等に従い、宮崎市へ迅速に報告し、状況に応じて警察・消防への通報を行う。
- ・ 社内安全衛生委員会を設置し、火災及び災害時の対応訓練、猛獣脱走時対応訓練、心肺蘇生法及びAED取扱訓練等、各種訓練を実施する。
- ・ 利用者の安全確保を図るため、各種対応マニュアル（火災及び災害発生時避難誘導対応、危険動物脱走時対応、各遊戯施設の非常時対応等）を整備。
- ・ 施設賠償責任保険加入（生産物責任保険含む）。

(6) 環境保護及び障がい者雇用等の福祉政策への取組状況

① 環境に配慮した施設管理

- ・ 動物園は、動物の糞尿を堆肥処理システムにより、両園の植物用肥料として還元利用し、市民等への配布にも活用する。
- ・ デマンド監視機器の導入により、電気使用量を抑制管理し、CO2排出量削減に努める。
- ・ 防潮防風林（松林）の保護として、松くい虫防除薬剤の注入等を毎年実施する。

② 障がい者の就労支援への対応

- ・ 同社では障がい者1名の雇用義務を設け、規定の対象1名を雇用している。「障がい者の雇用に関する法律」で義務付けされている法定雇用率2%を満たしている。
- ・ 障がい者福祉サービス事業部（「すてっぷ」）の事務所拠点を動物園内に置き、利用者が就労のための各種トレーニング（植栽管理の補助、施設及び設備の清掃補助、等）を行うことで、就労意向支援事業を支援している。

※ 上記の事業計画は、あくまで指定管理者候補者から選定に当たり示された内容であり、実際に行う事業の計画は、指定後に市と当該団体との間で協議の上、決定します。

5. 収支計画の概要

【宮崎市フェニックス自然動物園】

■ 収入（消費税抜き）

（単位：千円）

項目	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	5ヵ年合計
指定管理料	55,692	55,692	55,692	55,692	55,692	278,460
利用料金	250,990	251,990	252,990	253,990	254,990	1,264,950
その他	1,359	1,359	1,359	1,359	1,359	6,795
収入合計	308,041	309,041	310,041	311,041	312,041	1,550,205

■支出（消費税抜き）

（単位：千円）

項目	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	5カ年合計
人件費	182,195	182,995	183,795	184,595	185,395	918,975
水道光熱費	12,401	12,401	12,401	12,401	12,401	62,005
保守維持費	9,389	9,389	9,389	9,389	9,389	46,945
飼育費	31,525	31,525	31,525	31,525	31,525	157,625
車両費	1,804	1,804	1,804	1,804	1,804	9,020
業務委託料	45,351	45,351	45,351	45,351	45,351	226,755
賃貸料	7,243	7,243	7,243	7,243	7,243	36,215
消耗品費	9,532	9,532	9,532	9,532	9,532	47,660
旅費交通費	1,520	1,520	1,520	1,520	1,520	7,600
広告宣伝費	2,887	3,087	3,287	3,487	3,687	16,435
雑費	1,265	1,265	1,265	1,265	1,265	6,325
その他	2,929	2,929	2,929	2,929	2,929	14,645
支出合計	308,041	309,041	310,041	311,041	312,041	1,550,205

【フローランテ宮崎】

■収入（消費税抜き）

（単位：千円）

項目	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	5カ年合計
指定管理料	186,568	186,568	186,568	186,568	186,568	932,840
利用料金	68,030	68,030	68,030	68,030	68,030	340,150
その他	7,656	7,656	7,656	7,656	7,656	38,280
収入合計	262,254	262,254	262,254	262,254	262,254	1,311,270

■支出（消費税抜き）

（単位：千円）

項目	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	5カ年合計
人件費	64,672	65,672	66,672	67,672	68,672	333,360
水道光熱費	11,490	11,490	11,490	11,490	11,490	57,450
保守維持費	6,287	6,287	6,287	6,287	6,287	31,435
工事費	10,514	10,514	10,514	10,514	10,514	52,570
業務委託料	109,883	109,883	109,883	109,883	109,883	549,415
賃貸料	3,126	3,126	3,126	3,126	3,126	15,630
消耗品費	31,270	30,270	29,270	28,270	27,270	146,350
広告宣伝費	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	78,500
雑費	6,427	6,427	6,427	6,427	6,427	32,135

その他	2,885	2,885	2,885	2,885	2,885	14,425
支出合計	262,254	262,254	262,254	262,254	262,254	1,311,270

※ 上記の宮崎市フェニックス自然動物園及びフローランテ宮崎に係る収支計画は、あくまで指定管理者候補者から選定に当たり示された内容であり、最終的な収支計画（指定管理料を含む。）は、指定後に市と当該団体との間で協議の上、決定します。

6. 選定結果の概要

(1) 公募の概況

① 選定方法

非公募

② 募集日程

候補者選定方法に係る審議	平成28年6月23日
要項及び申請書類様式の配布	平成28年7月22日
質疑の受付（第1次）	平成28年8月8日～8月12日
質疑の回答（第1次）	平成28年8月18日
提出書類Aの受付（1次締切）	平成28年8月26日
提出書類Bの受付（最終締切）	平成28年9月26日
書類審査等	平成28年9月27日～10月7日
ヒアリングの実施	平成28年10月12日（選定委員会の開催）

(2) 都市整備部公園緑地課所管施設指定管理者候補者選定委員会

（敬称略）

	役職等
委員長	宮崎公立大学教授
委員	宮崎市地域婦人会連絡協議会役員
〃	公認会計士
〃	宮崎市都市整備部長
〃	宮崎市都市整備部公園緑地課長
〃	宮崎市都市整備部都市計画課長

(3) 選定の概況

ア 選定理由（非公募理由）

動物園については動物の飼育や繁殖等に必要な特殊技術や専門知識を有し、動物園の経営・運営・飼育実績が豊富であり、他に代替事業者がないこと、フローランテについては、設立趣旨に沿った同園の管理運営の実績が豊富で、今後も同園の信頼を維持するために必要な団体であると認められること、また、動物園とフローランテの相互に連携した運営の実績がある等の理由から、現在の指定管理者である宮崎市フェ

ニックス自然動物園管理株式会社を非公募により選定することについて、都市整備部公園緑地課所管施設指定管理者候補者選定委員会で承認された。

また、同委員会において、申請者からの申請書類及びヒアリングをもとに、「宮崎市公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例」で定める次の基準により、総合的に審査を行った。

- ①事業計画書に基づく当該施設の運営が市民の平等な利用を確保するものであること
- ②事業計画書の内容が当該施設の設置目的を最も効果的に達成するものであること
- ③事業計画書の内容が当該施設の管理に係る経費の縮減を図るものであること
- ④事業計画書に沿った管理を安定して行うための十分な能力を有しているものであること
- ⑤安全管理に対する対応
- ⑥環境保護及び障がい者の雇用等の福祉政策への取組み状況

その結果、宮崎市フェニックス自然動物園管理株式会社が当該選定基準に適合していると認められたため、当該団体を指定管理者候補者に選定した。

イ 審査結果一覧

選定の基準	満点 (配点×委員数)	最低基準 点	候補者 宮崎市フェニックス自然 動物園管理株式会社
①事業計画書に基づく当該施設の運営が、市民の平等な利用を確保するものであること。	180		132
②事業計画書の内容が当該施設の設置目的を最も効果的に達成するものであること(重要基準)。	420	168 (満点×40%)	324
③事業計画書の内容が当該施設の管理に係る経費の縮減を図るものであること	210		174
④事業計画書に沿った管理を安定して行うための十分な能力を有しているものであること	270		213
⑤安全管理に対する対応	60		41
⑥環境保護及び障がい者の雇用等の福祉政策への取組み状況	60		40
⑦合計得点	1200	720 (満点×60%)	924
【参考】提案金額			1,308,205,000円